

千葉市美術館所蔵作品展

# summer exhibition



斎藤義重 Seisaku ing (1985/1996改修) <part 1:夏のモダニスト>に展示

photo: S. Yamamoto

part 1: 夏のモダニスト  
1999年7月6日(火)ー8月8日(日)

part 2: 戦後美術の〈収穫期〉  
ー1980年以降の平面作品を中心に  
1999年8月17日(火)ー9月17日(金)

## 【同時開催】

甲斐庄楠音と大正期の画家たち  
6月29日(火)ー8月1日(日)

絵巻物ーアニメの源流  
8月10日(火)ー9月12日(日)

主催：千葉市美術館

休館日：月曜日

開館時間：午前10時ー午後6時  
(入場は午後5時30分まで)  
毎週金曜日は午後8時まで  
(入場は午後5時30分まで)

入場料：一般200円(160円)  
大学・高校生150円(120円)  
中・小学生100円(80円)  
( )内は団体30名以上料金

ハローダイヤル：043-227-8600



千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

# summer exhibition

1995年秋に開館した千葉市美術館はこれまで、企画展や所蔵作品展など、さまざまな展覧会を開催してまいりました。今回は所蔵作品展として、「1945年以降の現代美術」に焦点をしばったふたつの展覧会を連続して開催いたします。

本展では、part 1・part 2 とも、できるだけひとりの作家の作品を複数展示するように心がけています。同じ作家の作品でもそれぞれの作品や制作時間によってその表現は異なりますし、また複数展示することによってさらに大きな作品空間が生まれるからです。



村井正誠 歷程 (1984-93) part 1. に展示

## part 1: 夏のモダニスト

第1部では、1930年代から活動していた作家たちの作品を紹介いたします。

当館が所蔵する彼らの作品の多くは作者が円熟の年齢を迎えた時期のもので、どの作品にも清新さや若々しさを感じ取ることができます。それは昭和時代が青春期だった1930年代にみずから青春を重ねた作家に共通する特徴と言えるのかも知れません。



中西夏之 中央の速い白 XIII (1990) part 2. に展示

辰野登恵子 Dec-91-8 (1991) part 2. に展示



## part 2: 戦後美術の〈収穫期〉

—1980年以降の平面作品を中心に

第2部は、1980年から今日までの作品によって構成されます。1980年代に入ってから、60年代から活動をはじめていた作家をはじめ、新しく台頭した若手作家たちによって充実した平面作品がおおく発表されています。

作者は、自分で探求した絵画のあり方を開花させたヴェテランから、新しい哲学を背景に登場した新人、あるいは従来の「絵画」が持つ豊かさを再発見した作家などさまざまです。



吉澤美香 ほ-82 (1992) part 2. に展示

### 【交通案内】

- JR 総武線千葉駅
  - 東口より徒歩約15分
  - 京成バス大学病院行 (のりば⑦)「大和橋」下車徒歩約2分
  - 京成バス矢作台市営住宅・川戸行 (のりば⑦) あるいは 小湊バス八幡宿駅行 (のりば④)「広小路」下車徒歩約1分
  - 千葉都市モノレール県庁前行 (「葭川公園」下車徒歩約5分)
  - 無料巡回シャトルバス「チーバス」 (のりば⑨)「中央区役所・美術館前」下車 (11:05~18:35の 毎時05分と35分に出発・水曜運休)
- 京成千葉中央駅
  - 東口より徒歩約10分

